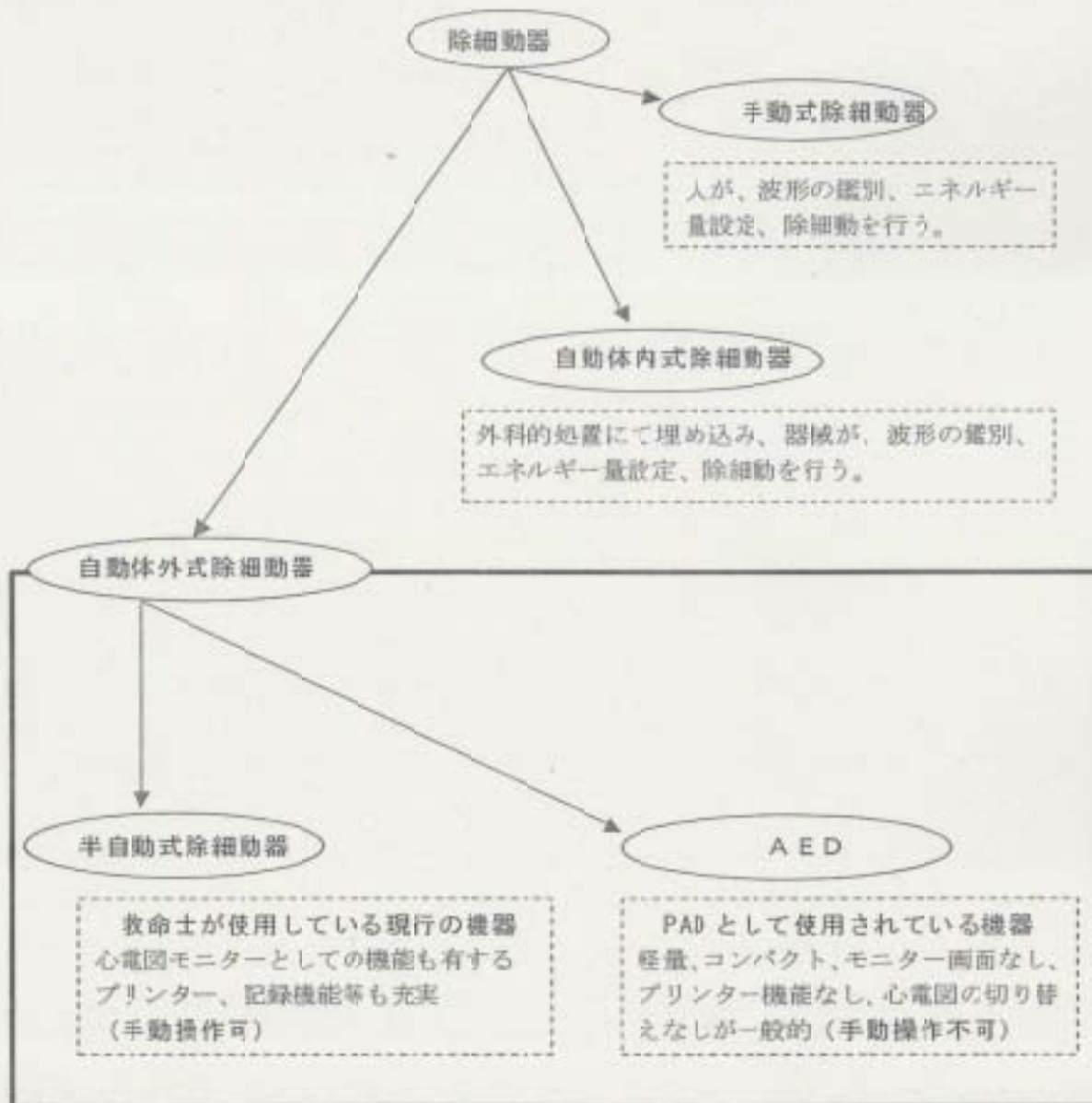


除細動器の分類及びAEDとして利用可能と考えられる機器について

除細動器の分類



※ すべての種類の除細動器に単相性(モノフェーজック)のものと同相性の(バイフェーজック)ものが存在する。単相性、二相性は通電時の電流の流し方の違いであり、除細動器の分類とは関係ない。

※ AED(Automated External Defibrillators)

※ PAD(Public Access Defibrillation)AEDを利用した医療従事者以外による除細動。

※ 救急救命士の使用する機器については自動体外式除細動器とするのが適当。

出典：包括的指示下での除細動に関する
研究会報告書(平成15年3月
総務省消防庁)

AEDとして利用可能と考えられる機器一覧（未定稿）

承認区分 (製造・輸入)	販売者名	出力	販売名	承認年月日
輸入	日本メドトロニック株式会社	単相性	ライフバック 500	H10.8.14
輸入	日本光電工業株式会社	単相性	AED-9100シリーズ	H14.3.27
輸入	ディーブイエックスジャパン株式会社	単相性	ファーストセーブ	H14.3.27
輸入	フィリップスメディカルシステムズ株式会社	二相性	ハートストリーム FR2 (モデルM380Aを除く)	H14.5.14
輸入	レールダルメディカルジャパン株式会社	二相性	ハートスタート FR2	H14.5.14
輸入	日本メドトロニック株式会社	二相性	ライフバック500B	H15.1.1

*主1. 現在、業事法上「自動体外式除細動器」の区分はないが、平成17年度から区分予定。

*主2. 本表では、体外式除細動器のうち、手動への切り替え機能がないものを掲載した。

*主3. 単相性とは、1方向性の通電、二相性とは二相性の通電をもたらすものをいう。

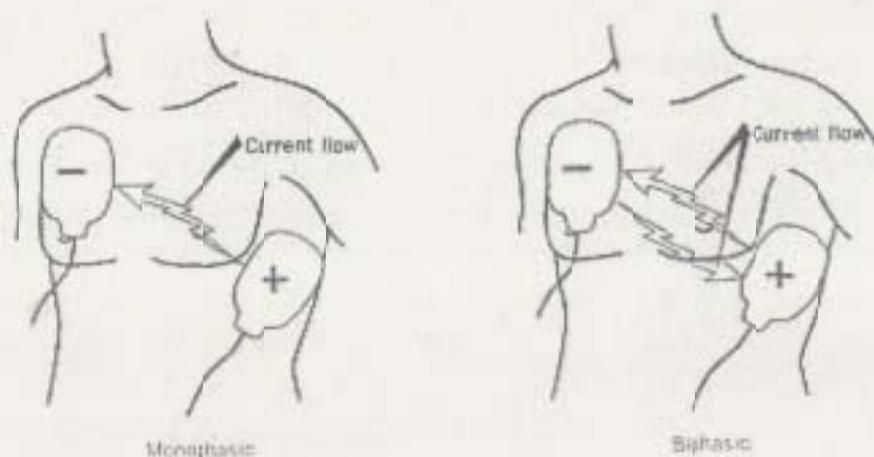


図 - 包括的指示下での除細動に関する研究会報告書（平成15年3月 総務省消防庁 より抜粋）